

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【公開番号】特開2018-720(P2018-720A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2016-134009(P2016-134009)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

口腔内に装着した状態で使用するための歯科用矯正器具(1)において、

前記歯科用矯正器具(1)は、口腔内に着脱自在に装備される矯正機器(10)と、該矯正機器近傍に立設される臼歯キャップ(20)と、からなり、

前記矯正機器(10)は、上顎用矯正部(11)と下顎用矯正部(12)とをワイヤー(13)により一体的に形成した一対のU字型矯正具からなり、上下顎の位置を調整しつつ歯列の矯正を行うとともに、

前記臼歯キャップ(20)は、周辺の歯より少し高さのある大型の固定用被覆蓋体からなり、上下顎の各臼歯の4カ所に嵌合装着可能に形成され、

前記矯正機器(10)は、左右上下の任意の臼歯に装着し咬合拳上を行うため、前記矯正機器(10)の上顎用矯正部(11)に設けられた凹溝(14)を介して前記臼歯キャップ(20)に係止することにより、前記臼歯キャップ(20)の外周に装着されることを特徴とする歯科用矯正器具。

【請求項2】

前記臼歯キャップ(20)は、レジンからなることを特徴とする請求項1記載の歯科用矯正器具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の目的を達成するために本発明に係る歯科用矯正器具は、口腔内に装着した状態で使用するための歯科用矯正器具であって、前記歯科用矯正器具は、口腔内に着脱自在に装備される矯正機器と、該矯正機器近傍に立設される臼歯キャップと、からなり、前記矯正機器は、上顎用矯正部と下顎用矯正部とをワイヤーにより一体的に形成した一対のU字型矯正具からなり、上下顎の位置を調整しつつ歯列の矯正を行うとともに、前記臼歯キャップは、周辺の歯より少し高さのある大型の固定用被覆蓋体からなり、上下顎の各臼歯の4カ所に嵌合装着可能に形成され、前記矯正機器は、左右上下の任意の臼歯に装着し咬合拳

上を行うため、前記矯正機器の上顎用矯正部に設けられた凹溝を介して前記臼歯キャップに係止することにより、前記臼歯キャップの外周に装着される構成である。

また、前記臼歯キャップは、レジンからなる構成である。